

## 編集後記

23号の特集は、国際シンポジウム『トランスジェンダーが問うてきたこと——身体・人種・アイデンティティ』での貴重な各報告を採録するとともに、論文公募というこれまでにない試みをすることで、質の高い論考が出揃った。『ジェンダー研究』の新たな一ページを開拓する瞬間に立ち会えたことを大変嬉しく思う。

またもう一つの新たな試みとして、今号より各論文にDOI (Digital Object Identifier) を付与することとなった。デジタル化に対応した試みの一つで本誌がより幅広く読まれることを期待している。

今回は新型コロナ・ウィルスの影響でほとんどの作業を在宅で実施した。担当する特集も投稿論文も、査読手続きや校閲のために何度も読むことになるのだが、各分野の先端を走る論文を読ませていただくこのひとは、在宅でひとり作業しながらも幸せな時間であった。

今号も多くの方のご協力のもとに刊行されている。特集、投稿論文を査読いただいた31名の先生方には、コロナ禍で大変お忙しい中厳しくも温かいコメントを頂戴した。ブライント査読のためお名前を出すことが叶わないが、ご尽力に心より御礼申し上げたい。また、特集パートのゲスト編集長を務められた石丸先生をはじめとして、編集委員各位には様々なアドバイスをいただいた。編集委員会での次号特集に関する議論は(次号の準備も始まっています!お楽しみに!)、事務局として編集に関わることのできる素晴らしさを改めて感じることできた貴重な機会であった。日本語校閲は、今号も長田孝子さん、宮内裕美さんにお世話になっている。丁寧な作業に御礼申し上げたい。

加えて、特集テーマやシンポジウムポスターから毎回素敵な表紙を作成下さる塩飽晴海さん、スケジュール変更に快く応じて下さる能登印刷さん、そして会計業務を統括下さる滝美香さん、DOI付与に関し迅速に環境を整えてくださった梅田由紀子さんなしには、今号が完成しなかったこともあわせて記しておきたい。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

(お茶の水女子大学ジェンダー研究所 特任リサーチ・フェロー 平野恵子)

今回の『ジェンダー研究』23号においては、新型コロナ・ウィルスの影響をうけて編集作業等に遅れが出るといったようなことも起こったが、ようやく無事に刊行することができ、今とても安堵し、その達成感を味わっている。

私が『ジェンダー研究』の書評を担当させていただくようになって、今号が3回目の発行となった。そして、この23号でも非常に興味深く、ジェンダー関連の研究に取り組む人たちに様々な示唆を与えそうな16本の最新の書籍の書評を掲載することができた。

書評の候補として書籍を選定する際には、『ジェンダー研究』編集委員会の委員の先生をはじめ、お茶の水女子大学の学内外の様々な分野を専門とされている教員や研究者の方々からアドバイスをいただき、評者候補の方々の紹介等でも支援を賜った。こうした多くの方の支援に心から感謝している。

またお忙しい中、書評の執筆を快く承諾してくださった飯尾真貴子さん、大木直子さん、

神谷悠介さん、小門穂さん、小林奈央子さん、洲崎圭子さん、巢内尚子さん、高山純子さん、中村亜美さん、中村まりさん、萩原久美子さん、日比野由利さん、福田珠己さん、船木恵子さん、古橋綾さん、山本千晶さん(五十音順)には、特に御礼申しあげたい。16人の評者の方々には、それぞれの著書について、わかりやすくその内容や特徴を示し、その上でずいぶん洞察力をもって的確にその内容を評していただいた。この評者の方々の『ジェンダー研究』23号の内容の充実への貢献は大きい。ジェンダー関連の問題に取り組んでいる多くの研究者や学生たちがこれらの書評を読んでその書籍に関心を持ち、実際にその著書を手にとってくれればと思う。

そして作業をすすめる中では、申琪榮編集長、平野恵子編集局長、IGSのスタッフで校閲担当の和田容子さんからも、それぞれの持つネットワークや知識、技能を駆使して支援していただいた。3人の助けがあってこそ、今回も私の役割を果たすことができたと思う。この3人にも感謝申し上げたい。

最後に『ジェンダー研究』23号を多くの方にお読みいただき、掲載された論文や書評が、読者の研究の中で何かの形で活かされることを願ってやまない。そして今号でも、自分が編集業務に携われたことをとても誇りに思っている。

(お茶の水女子大学ジェンダー研究所 特任リサーチ・フェロー 仙波由加里)

編集実務スタッフとして、進行補佐と書評等の校閲を担当させていただきました。その作業中、新型コロナ・ウィルス感染防止のためテレワークとなりました。ひとり自宅PCに向かう日々、“書かれた言葉”の力に改めて感動し、そのかけがえのなさが心に沁みました。

今回も『ジェンダー研究』刊行のお手伝いをさせていただく機会を与えて下さいました申編集長、特任リサーチ・フェローの平野さん、仙波さんに、心から感謝申し上げます。

(お茶の水女子大学ジェンダー研究所 アカデミック・アシスタント 和田容子)

## 『ジェンダー研究』編集方針

- 1 『ジェンダー研究』（以下、本誌）は、学際的・国際的なジェンダーに関する最新の研究成果を発信し、グローバルなジェンダー研究の発展に寄与する。
- 2 本誌は、特集記事・投稿論文・書評からなる。
- 3 本誌は特集記事を企画し、時宜にかなったもの、国際的な関心の高いもの、新領域を開拓するものなど、現在のジェンダー研究にとって重要であるテーマで、質の高い論文を掲載する。
- 4 投稿論文は、国内外・学内外を問わず公募し、厳正な審査を経て掲載することで、質の高い学術論文の国内外への頒布を進める。
- 5 書評は、国内外のジェンダーに関する書籍を厳選し、最先端の研究動向の紹介およびそれについての考察を加えた論評を行う。
- 6 本誌の刊行により、国内外・学内外のジェンダーに関する研究の発展を促進し、グローバルかつ有機的な研究交流の構築を目指す。そして、国立大学法人として、男女共同参画社会の実現に貢献する等の、社会的要請にも応える。

## 『ジェンダー研究』投稿規定

- 1 投稿する論文は、女性学・ジェンダー研究に関する、学術的研究に寄与するものとする。
- 2 投稿者は、国内外を問わず、学際的に女性学・ジェンダーに関する研究に従事する者とする。
- 3 投稿する論文は、未発表の論文に限る。なお、この規程に違反した場合、新たな投稿を受け付けないなど、しかるべき措置をとる。
- 4 論文執筆における使用言語は、原則として日本語または英語とする。日本語／英語以外の言語による投稿に関しては、編集委員会において検討する。
- 5 投稿論文は、  
日本語の論文は、注・図表・参考文献を含めて20000字以内  
英語の論文は、注・図表・参考文献を含めて8500ワード以内  
定められた字数などの制限を超えた場合、形式において甚だしく不備がある場合には、受理できない。
- 6 論文の提出時には、本文・図表・参考文献のほかに、以下についても提出すること。  
6-1表紙。論文タイトル（副題も含む）と投稿者氏名・所属を、日本語と英語とで記す。（タイトル等の英語表記は、確認のうえ編集事務局で変更する場合もある。）

6-2 日本語要旨。400字以内。

6-3 英語要旨。200ワード以内。ネイティブチェック済のもの。

6-4 キーワード。日本語・英語ともに5語以内で、それぞれの要旨の後に記載する。

- 7 投稿論文は、ジェンダー研究所ウェブサイト上の、以下のいずれかの投稿フォームより、必要事項を入力したうえで、メール添付にて送付すること。

日本語投稿フォーム

<https://form.jotform.me/72482244933459>

英語投稿フォーム

<https://form.jotform.me/72488720633461>

- 8 本文と要旨などのテキストのデータは Word と PDF のファイルにし、図、表のデータは Word または Excel と PDF にし、写真は JPEG と PDF のファイルにして提出すること。
- 9 他の文献等から図、表、写真などの転載を行う場合は、原則として投稿者が自らの責任において必要な手続きを行う。その際の費用に関しては投稿者が負担する。
- 10 本文、引用文、参考文献、注については、別に定める<『ジェンダー研究』執筆要項>に従う。英語の投稿論文は *Style Sheet for Journal of Gender Studies* とする。
- 11 投稿論文の掲載の可否は、査読者による審査のうえ、編集委員会が決定する。ただし、本投稿規定・執筆要項や本誌の趣旨に合致しない原稿、また学術的論文としての水準を著しく達していないと判断された場合、審査の対象外とする場合もある。
- 12 編集委員会は、査読者の審査にもとづき、投稿者に論文の修正を求めることがある。求められた投稿者は、速やかに論文を修正し、修正対応表をつけて、メールにて提出しなければならない。
- 13 投稿者による校正は原則2回までとする。
- 14 投稿後、投稿論文を取り下げる場合は、速やかに編集委員会に申し出ること。
- 15 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。ただし、図・表・写真などが多い場合には、執筆者による自己負担となることがある。
- 16 掲載論文の著作権はお茶の水女子大学ジェンダー研究所に帰属するものとする。転載を希望する場合には、編集委員会の許可を必要とする。

(2017年10月27日改訂)

『ジェンダー研究』執筆要綱

<http://www2.igs.ocha.ac.jp/wp-content/uploads/2018/11/instructionsjp.pdf>